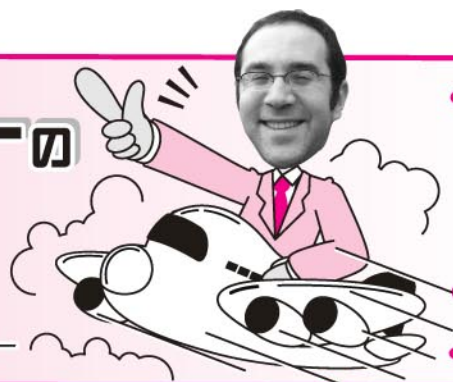


オレリエン・ハンクーの スイスへの誘い



—かしこ、すべては整いと美、栄え、安らい、そして悦び—

旧・鏡野町の皆さん、こんにちは。

新・鏡野町の皆さん、初めまして。

私の事をまだ知らない人が多いのではないかと思います。まして、簡単に自己紹介させていただきます。

スイスのジュネーブから来た、オレリエン・ハンクー (Aurelien HANCOU) と申します。高校時代から日本に興味を持って、大学で日本語を専攻して、2003年の8月から鏡野町役場で国際交流員として働いています。今まで「広報かがみの」で異文化を紹介する記事や感想文、あるいは紀行を載せて、「ローヌ川への懸け橋」というコラムを担当してきましたが、新町を機にこのコーナーを進化させていただきます。

勝手ながら、このコラムをまず改名させていただきます。色々と考えて悩んだ挙句、「スイスへの誘い」にしました。私の大好きな詩人、シャルル・ボードレー (1821-1867) が書いた「旅への誘い」へのオマージュです。

このコラムで、スイスのことはもちろん、鏡野町のこと、異文化のことなどについて書いていきたいと思います。広い世界やスイスに興味を持っていただいて、行ってみたいと思えるようになれば嬉しいです。雑文で読みにくい文章になるかもしれませんが、よろしくお願い致します。

そして、町内に見かけたら気軽に声をかけてください。

ボードレーの詩と言えば、「猫」についていくつかの詩も書いたのです。そして猫と言えば、シルエットを作るパズル・ゲームを思い出させました。小さいときによく遊んでいたゲームで、その名は「タングラム」です。

1つの正方形を7つのパーツに割つ



タングラムの
「猫」

であるゲームです。5つの三角形 (大型2つ、中型1つ、小型2つ)、1つずつの正方形と平行四辺形で、様々なシルエットや幾何学的な形を作る一見単純に見えるし、「全部の欠片を使って、重ねさずに問題を解いていく」というとても簡単なルールですが、1600以上のパターンがあって、難度の幅は広くて、子供だけではなく大人も結構楽しめるゲームです。左にある図をもとに、段ボールや色紙で自分のタングラムを作ってみてください。「猫」と「走る子」を完成できるでしょうか？毎月、解答と新しい問題の予定、乞うご期待！



「タングラム」は中国生まれのゲームで、郷里での名前は「七巧板」(シチ・コウ・パン) です。起源についてはいくつかの説がありますが、長いこと単なる女性や子供の手遊びと見られ、あまりまともに扱われる事がなかったため、よく分っていないのが現状です。ヨーロッパとアメリカに伝わったのは中国と貿易関係が盛んになった1820年代でした。そしてドイツに伝わった「タングラム」はすぐ人気商品となりましたが、それは、「積み木」が人気あったからです。遊び道具としての「積み木」を考えた人は、幼稚園の生みの親であるフリードリヒ・フレーベル (Friedrich Froebel) で、なんとペスタロッチの弟子でした。

ペスタロッチを知らない人は大勢いらっしゃると思いますが、役場の隣にある「ペスタロッチ館」まで来ていただければ、どんな人か、何をしていた人だったか少し理解していただけると思うので、いつか「ペスタロッチ・ルーム」まで足を運んでください。



タングラムの
「走る子」

旅への誘い (シャルル・ボードレー)

いとし子よ、妹よ、
甘やかに思いみよ、
かしこで、二人で暮らすことを。
愛しあう、ほがらかに、
愛しあう、死ぬために、
あなたによく似た遠い国で！
薄曇る大空の
潤みある太陽は
わが心へ魅力をふりまく。
神秘的な
あなたの裏切りの眼のように、
涙を透かして輝かしく。

歳月で磨かれた
つややかな家具類は
私たちの部屋を飾りたて、
古い花瓶に挿した
珍らかな花々は、
琥珀のごとき香りを、立て、
天井の絵の歪み、
奥へ吸い込む鏡、
異国風の壮麗なものまで、
そのすべてが心に
語るだろう、ひそかに、
懐かしい故郷の言葉で。

ほら、ごらん、あの運河、
まどろんだ船たちが、
さすらいの心を乗せている。
それらはただあなたの
憧れをみたすため、
世界の涯しからやって来る。
—沈みゆく太陽は何もかも染めていく。
運河も、街も、野原も、すべて、
薔薇色と金色に。
世界は眠りゆく、
暖かな光のただ中で。

かしこ、すべては整いと美、
栄え、安らい、そしてよろこび。

かしこ、すべては整いと美、
栄え、安らい、そして悦び。

かしこ、すべては整いと美、
栄え、安らい、そして悦び。